

入園のしおり



社会福祉法人 さくら

牛久さくら保育園

所在地 〒300-1203
茨城県牛久市下根町 1371-2
電話 029-869-9557
FAX 029-869-9558

ごあいさつ

牛久さくら保育園は、平成26年4月に、牛久市の下根町に開園いたしました。

当保育園は、常磐線ひたち野牛久駅の東口から車で5分ほどの牛久運動公園に面した地域に位置しております。

1. 健康でたくましい子の育成
2. 情操の豊かな明るい子の育成
3. 豊かな社会性と生命を大切に思う子の育成

を理念として、心身ともに健やかな乳児および幼児の保育事業を行い、保護者の方々が安心できる環境を提供いたします。

職員一同、力を合わせてお子様方の保育に取り組んでまいります。

皆様方のご支援とご指導をお願い申し上げます。

社会福祉法人 さくら
理事長 久保田 正樹

牛久さくら保育園紹介

施設の概要

名 称	社会福祉法人さくら 牛久さくら保育園			
所 在 地	茨城県牛久市下根町 1371-2			
連 絡 先	TEL 029-869-9557 FAX 029-869-9558			
定 員	134名			
建物構造	鉄骨造 平屋建			
施設の規模	敷地面積	4030.91 m ²	述べ床面積	1247.40 m ²
	建築面積	1331.64 m ²	屋外遊戯場	666 m ²
	駐車場	1324.51 m ²	緑地	600.00 m ²



定員児童数 134名

0歳	ひよこ	6~12名
1歳	りす	20名
2歳	うさぎ	18~24名
3歳	あひる	26名
4歳	こあら	26名
5歳	ぞう	26名

職員体制

園長	嘱託医師
主任保育士	(内科 河合医院)
保育士	(歯科 兼久歯科医院)
看護師	栄養士・調理員
事務員	(委託 株式会社
子育て支援員	ベネミール)
保育補助員	

休園日

- ◇年末・年始 (12/29~1/3)
- ◇祝祭日
- ◇社会的行事や安全管理上休園の必要がある場合

保育（教育）の理念など施設運営方針

理 念	1 健康でたくましい子の育成 2 情操の豊かな明るい子の育成 3 豊かな社会性と生命を大切に思う子の育成
-----	--

保 育 方 針	<p><u>子ども時代から生涯を通して学び続け</u></p> <p><u>何かを作り上げることを楽しむ人間に</u></p> <ul style="list-style-type: none">●日々の生活の充実を図る●生活と学びの真ん中に「遊び」のある保育●思いやりを持ち、互いに助け合う姿勢を育む
---------	---

保育の内容とその特徴

- ・生活習慣の自立を目指し、多様な遊びを提供する
- ・豊かな自然と触れ合いの中で、遊びながら学びを深める
- ・自分の感情や気持ちを理解し、自分を大切にすることの大切さを育む

保育時間

- 支給認定により「標準保育」「短時間保育」が決定します。
- 勤務に係る時間（通勤時間を含む）を申請することで利用できます。
- 勤務がお休みの日でも利用はできますが、8：30～16：30での利用をお願いしています。
- 土曜保育の利用は手続きが必要です。原則として、両親ともに就労されている方に限ります。

		通常保育	延長保育
標準保育 (11時間)	平日	7：00～18：00	6：30～7：00 18：00～20：00
	土曜日	7：00～18：00	なし
短時間保育 (8時間)	平日	8：30～16：30	6：30～8：30 16：30～20：00
	土曜日	8：30～16：30	7：00～8：30 16：30～18：00

事業の概要 ※特別保育事業の利用には手続きが必要です。

特別保育事業内容			
休日保育	日曜日	7：00～18：00 利用者の希望により	800円 / 1時間
病児病後児保育 (体調不良児対応型)	平日	保護者のお迎えが来る まで別室にて保育する。	
一時保育	平日	8：30～17：00 満1歳以上から	2,000円 / 1日 1,000円 / 4時間
延長保育	標準 保育	6：30～7：00	250円
		18：00～18：30 18：30～20：00	100円 その後30分毎150円
	短時間 保育	7：00～8：30	150円 / 30分
		16：30～17：00	100円 その後30分毎150円

※一人あたりの料金です（R8.4改訂）

保育園の一日

0・1・2 歳児			3・4・5 歳児		
	標準保育	短時間保育		標準保育	短時間保育
6:30	保育のはじまり		6:30	保育のはじまり	
7:00	延長保育（～7時）	料金発生	7:00	延長保育（～7時）	料金発生
	順次登園			順次登園	
	健康状態荷物の確認	8:30～		健康状態・荷物の確認	8:30～
9:00	遊び（合同保育から年齢ごとの保育に移行する）	順次登園	9:00	年齢・発達に応じた活動	順次登園
	おやつ				
10:00	主活動（年齢・発達に応じた遊び、外気・自然に触れた活動、異年齢児との交流や行事等への参加）		10:00	主活動（全身の運動、音楽や造形、ことばによる表現活動、異年齢児との交流、自然や地域社会とのふれあい、行事への参加等）	
11:00	給食		11:30	給食	
12:30	午睡		12:00		
			13:00	午睡	
14:30	めざめ		14:30	めざめ	
15:00	おやつ		15:00	おやつ	
	年齢別活動			年齢別活動	
16:00	順次降園、個別確認 ・お迎え順に帰宅となります ※年齢ごとの人数と時間により保育の形態が変動します。	16:30 延長保育 料金発生	16:00	順次降園、個別確認 ・お迎え順に帰宅となります ※年齢ごとの人数と時間により保育の形態が変動します	16:30 延長保育 料金発生
18:00	延長保育（料金発生）		18:00	延長保育（料金発生）	
20:00	保育終了		20:00	保育終了	

朝の登園は、給食等の関係やお子様の活動等により9時までにお願いします。

土曜日・日曜日の生活は、平日の保育園の一日と変わりませんが、登園されるお子様の年齢や人数により保育の形態が変動する場合がありますのでご理解をお願いします。

年間行事予定

保護者の方に参加していただく行事は、入園式、保育参観、運動会、生活発表会、親子遠足（年長組）、卒園式（年長組）等です。

月	主な行事	月	主な行事
4月	入園式（第1土曜日）	10月	ピクニック 歯科・内科検診・尿検査 ハロウィン
5月	保育参観 ピクニック		
6月	親子遠足（年長組） プール開き 歯科・内科検診・尿検査	11月	生活発表会
7月	七夕 夏まつり	12月	クリスマス会
8月	プール納め	1月	正月遊び
9月	運動会	2月	節分 保育参観
えいごで遊ぼう（4.5歳） リトミック（3.4歳） 運動教室（5歳）		3月	ひなまつり 年長児とのお別れ会 卒園式
身長・胸囲測定（健康診断時に計測） 体重測定（毎月計測） 誕生会（毎月実施） 避難・防犯訓練（毎月実施） 交通安全指導（毎月実施） 安全のための実施訓練（随時） 保健指導（手洗い・歯みがき）		◇行事予定は変更になる場合もありますのでご了承ください。 ◇主な行事の他に、各月における日本の伝統的な諸行事や年齢ごとの保育において可能な活動については、保育の中でとりいれていきます。 ◇安全のための実施訓練は、登降園時の危険箇所の確認、交通安全指導、及び不審者への対応（防犯訓練）を随時実施します。 ◇市で実施する健診などは個別に受けて、その結果を保育園にお知らせください。 ◇予防注射を受けたときは、そのつどお知らせください。	
内科検診	入園時 年2回		
歯科検診	年2回		
尿検査	年2回		

持ち物について

◇年齢ごとの持ち物一覧表をご確認ください。

◇毎日持参する物

○0～2歳児

バック	ビニール袋	バスタオル	連絡袋
着替え	靴下	靴	水筒（水か麦茶）又はマグや哺乳瓶
※オムツ	※おしり拭き	※エプロン	※お手拭き（ウェットティッシュ）

※『にこにこ登園』サブスク利用者は必要ありません。

○3～5歳児

リュック	ビニール袋	コップ	ループ付きタオル	シール帳
着替え	お箸セット	歯ブラシ	水筒（水かお茶）	連絡袋

◇週の初めに持参する物

年齢ごとに違いますが、帽子、着替え袋、布団、上履きなどがあります。

服装について

◇衣類は動きやすく着脱しやすいものをお願いします。

特に、つなぎの肌着、サスペンダーやフードのついた洋服などはご遠慮ください。

◇髪の長いお子さんはご家庭で髪の毛を結んで来てください。また飾りの大きい物やカチューシャ、ヘアピンなどはトラブルや事故を防ぐため使用を控えてください。

◇履物は、サンダルやかかとの高いものをさけて**運動靴を着用**ください。

0・1・2歳児の服装	3・4・5歳児の服装
年間通して私服を着用	年間通して私服を着用
0歳児はサイズに合う帽子をご用意下さい。 1, 2歳児の帽子は、保育園で指定のものを購入していただきます。	帽子は保育園で指定のものを購入していただきます。 体操着は保育園で指定のものを購入していただきます。

給食について

<p>◇給食は、完全給食です。 3歳以上は、個人負担となります。(6,000円/月) 月齢に合わせて離乳食から対応しております。 0～2歳児のお子様は『離乳食状況確認表』又は『給食食材確認表』の提出をお願いしています。</p>
<p>◇栄養士・調理師が献立表に基づき、お子様の発達に合った食材の切り方、調理法などを工夫し、衛生・安全な調理を心がけます。 盛り付け後、各クラスに届けられます。</p>
<p>◇食物アレルギーのお子様については、医療機関を受診し、アレルギー食の状況を保育園にお知らせ下さい。 「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」「食物アレルギー状況依頼書」を提出していただきます。 ◇除去食が必要であるお子様には個々に応じて対応します。 ◇アレルギーの食材によっては提供できない場合もあり、お弁当を持参していただくこともあります。</p>

諸費について

<p>◇入園、進級時に年齢ごとに必要な物を購入していただきます。</p>
<p>◇活動費 月300円 年度初めに12ヶ月分をまとめて集めます。 行事やアルバム写真代、絵本などの購入に使います。</p>
<p>◇月刊誌 3～5歳児で使用します。年度初めに12ヶ月分をまとめて集めます。 月450～480円程度</p>
<p>◇延長保育料 利用したご家庭のみ月末締めで翌月請求させていただきます。</p>

ご意見・ご要望について

<p>ご意見やご要望については「苦情受付窓口」「ご意見箱」を用意しておりますので、どうぞ遠慮なくご利用ください。また、ホームページからはメールでのお問い合わせも受け付けております。</p>
--

連絡体制について

保育園では以下の形で保護者の皆様と連絡を取っています。

ICT システムの連絡アプリ「パピーナ」を導入しています。皆様にダウンロードをお願いしています。登降園時の打刻や出欠席の連絡、日々の連絡帳機能等を利用しています。

また、『ルクミーフォト』に登録することでお子様の日常の様子の写真の閲覧、販売ができるようになります。

- ①保育士 登園時、降園時に直接職員へお子様の様子、健康状態、その他連絡事項をお伝えください。また現金や大切な書類等も直接職員に手渡してください。その際担当が不在でも対応いたしますのでご相談ください。
- ②連絡帳 【0～2歳児】は、パピーナのアプリ内の連絡帳を使用します。
パピーナ 【3～5歳児】は、希望者のみ使用します。
- ③園だより 月の予定、ご家庭へのお願いなどをお知らせします。合わせて「保健だより」「献立表」も毎月ホームページの掲載とパピーナのアプリ内での配信を行っています。必ず目を通していただきますようお願いいたします。
- ④緊急時 事前に届け出のある連絡先に保育士が連絡いたします。園からの着信があった際は速やかに折り返しの連絡を入れて下さい。

◎連絡してほしい内容

- ・給食を準備する都合で、欠席や遅刻等の連絡は朝9時までをお願いいたします。連絡がない場合は安全上確認の電話を入れさせていただきます。
- ・お子様の送迎に通常来ている保護者以外の方が来る場合。確認が取れるまで引き渡しできない場合があります。
- ・住所・電話番号・勤務先などの変更がある場合は速やかに報告してください。
- ・保育園を休園（1ヶ月以上）または退園する場合は1ヶ月前までにお申し出ください。

緊急時の対応について

◇園の電話が使用できない等の緊急時は園携帯 080-7705-7311 へおかけください。

送迎に関する注意事項

1. 徒歩で保育園に入るとき
◇通園の際は車等に注意し、お子様の手を離さず安全にご配慮ください。
2. 自動二輪車・自転車で保育園に入るとき
◇自動二輪車は、駐車場の駐車スペースに駐輪し、お子様の手を離さず安全にご配慮ください。
◇自転車は、駐車場内では車等に注意し降りて歩いて進み、玄関前のスペースに停めて下さい。
3. 自動車で保育園に入るとき
◇保育園内の「駐車場」をご利用ください。駐車場内はお子様の手を離さず、安全管理に努めてください。
◇アイドリング駐車は危険ですのでおやめください。
4. 安全管理上 10時から 16時は駐車場のゲートを閉めています。
事前に連絡をいただいている送迎の場合は開閉しご利用ください。
それ以外の場合はインターフォンでお知らせください。
5. 登園・降園時の駐車場は車の出入りがあり大変危険です。お子様が駐車場で遊ぶことのないよう保護者の皆様は速やかな行動をお願いします。

災害発生時もしくは気象庁の警報等の対応について

- ◇震度5弱以上の地震の発生、もしくは気象庁の警報が発出された場合
連絡アプリ及び災害伝言ダイヤルを利用し、園の被災状況報告と保育園の利用の可否、保育中の場合は早急にお迎えをお願いする場合があります。
- ◇ライフライン（電気・水道・ガス）が止まってしまった場合
状況に応じて保育時間を短縮したり、休園したりする場合があります。

保育中の被災で園舎に被害が出てしまった場合は、2次避難場所として近隣の『牛久運動公園武道館』へ移動をします。園内には下記の備蓄品を用意しています。

非常食、飲料水	救急セット
簡易テント	簡易トイレ
毛布、タオルケット	マット
ヘルメット、防災頭巾	その他衛生用品

健康管理について

① 検 温	<p>◇0・1・2歳のお子様は毎朝保育園で体温を測り、検温表に体温を記入してください。（個人の体温計を用意してください。園で保管いたします。）</p> <p>◇3・4・5歳のお子様は自宅で体温を測り、パピーナのアプリで入力してください。</p> <p>◇朝の時点で 37.5℃以上の熱がある時はお子様をお預かりできない場合があります。</p>
② 発 熱 下 痢 嘔 吐	<p>◇発熱・下痢・嘔吐の症状があるときは、保護者に連絡し状況によっては、お迎えをお願いする場合があります。（38℃以上の熱が出た時は速やかにお迎えと、解熱後 24 時間様子を見てからの登園をお願いしています。）</p> <p>園内感染防止のため、早めに受診してください。</p>
③ 感染症の とき	<p>◇感染症のときは、「感染症の登園基準」を厳守してください。 （入園のしおり別紙をご確認ください）</p> <p>園内感染・流行を防ぐ為にご協力をお願いします。</p>
④ くすり	<p>◇お薬は原則としてお預かりしません。</p> <p>◇慢性疾患などで継続して服用しなければならない場合はご相談ください。（薬はできるだけ 1 日 2 回（朝、夕）に分包していただくよう医師にお願いしてください）薬を持参する場合は確認用の用紙、おくすり説明書のコピーなど提出していただきます。</p>
⑤ 怪 我	<p>◇保育園では十分注意をしていますが万が一防ぎきれずに怪我をしてしまった場合は、保護者に連絡をするとともに応急手当をします。</p> <p>必要に応じ、病院に搬送し保護者に病院へ向かっていただきます。</p> <p>◇病院で支払いが生じた場合、当面保護者にご負担していただきます。</p> <p>「独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度」に加入しておりますので、保護者の負担金の一部が支給されます。</p> <p>しかし診療点数によっては支給の対象とならない場合がありますのでご承知ください。</p>
⑥ その他	<p>◇予防接種を受けた時はお知らせください。</p> <p>接種当日は体調を崩すことがあるのでお預かりできません。ご家庭で様子をみてください。または降園後の接種をお願いしています。</p> <p>病院等の受診後の登園もご遠慮ください。</p> <p>◇マスクの着用についてはご家庭の意向に合わせておりますが、感染症の状況によっては着用をお願いすることがあります。</p>



幼児期において育みたい資質・能力

- 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」
- 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」
- 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」

各年齢の特徴や発達段階を考慮し子どもたちの心を育てまいります
お子様の成長や発達で気になることがあればご相談ください。
保健センターや療育施設等連携をとってサポートしてまいります。





幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

・健康な心と体

保育園生活の中で充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせながら取り組み、見通しを持って自ら健康で安全な生活を作り出して行けるようになる。

・自立心

身近な環境に主体的に関わり色々活動遊びを生み出す中で、自分の力で生み出すために思いを巡らして、自分でしなければならないことを自覚して行い、諦めずにやり遂げることで満足感や達成感を味わいながら、自信を持って行動をするようになる。

・協同性

友だちとの関わりを通して、互いの思いや考えなどを共有し、それらの実現に向けて、工夫したり、協力したりする充実感を味わいながらやり遂げるようになる。

・道徳性・規範意識の芽生え

して良いことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するようになり、自分の気持ちを調整し、友だちと折り合いをつけながら、決まりを守る必要が分かり、決まりを作ったり、守ったりするようになる。

・社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちを持ちつつ、色々な人と関わりながら、自分が役に立つ喜びを感じ地域に一層親しみを持つようになる。遊び生活に必要な情報を取り入れ、情報を伝えたり、活用したり、情報に基づいて判断しようとしたりして、情報を取捨選択などして役立てながら活動するようになると共に、公共の施設を大切に利用したりなどして、社会とのつながりの意識などが芽生えるようになる。

・思考力の芽生え

身近な事象に積極的にかかわり、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりする中で思いめぐらしたり、工夫したりなど多様なかかわりを楽しむようになると共に、友達など様々な考えに触れる中で、自ら判断しようとしたり考えなおしたりなどして、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをより良いものにするようになる。

・自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する機会を通して、自然の変化などを感じ取り、身近な事象への関心が高まりつつ、好奇心や探求心を持って思いめぐらし言葉などで表しながら、自然への愛情や畏敬の念を持つようになる。身近な動植物を命あるものとして心を動かし、親しみを持って接し、いたわり大切にする気持ちを持つようになる。

・数量・図形、文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気づいたりして、必要感からこれを活用することを通して、数量・図形、への関心が一層高まるようになる。

・言葉による伝え合い

言葉を通して先生や友だちと心を通わせ、絵本や物語などに心を通わせ、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付けるとともに、思いめぐらしたことを自分で表現することを通して、言葉による表現を楽しむようになる。

・豊かな感性と表現

みずみずしい感性を基に生活の中で心を動かす出来事に触れ、感じたことや思いをめぐらしたことを自分で表現する過程を楽しんだりして、表現する喜びを味わい、意欲が高まるようになる。

案内図

